

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公開番号】特開2007-41580(P2007-41580A)

【公開日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-006

【出願番号】特願2006-184941(P2006-184941)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/20 6 7 0 J

G 0 9 G 3/20 6 4 2 C

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 2 3 R

G 0 9 G 3/20 6 2 3 Y

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 4 1 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 1 D

G 0 9 G 3/20 6 7 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月12日(2009.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のゲート線と複数のデータ線との交差に対応して配置される複数の画素と、
複数のモニター用発光素子、複数のモニター制御用トランジスタおよび複数のインバータと、を有するモニター回路と、を備える表示装置であって、
前記画素は、少なくとも 2 つ以上のサブ画素により構成され、
前記サブ画素は、バッファアンプと電氣的に接続され、
前記インバータの入力端子は、前記モニター制御用トランジスタのソースまたはドレインの一方および前記モニター用発光素子の一方の電極と電氣的に接続され、
前記インバータの出力端子は、前記モニター制御用トランジスタのゲートと電氣的に接続され、
前記モニター制御用トランジスタのソースまたはドレインの他方は、前記バッファアンプおよび定電流源と電氣的に接続されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

複数のゲート線と複数のデータ線との交差に対応して配置される複数の画素と、
複数のモニター用発光素子、複数のモニター制御用トランジスタおよび複数のインバータと、を有するモニター回路と、を備える表示装置であって、

前記画素は、少なくとも 2 つ以上のサブ画素により構成され、

一画素における前記サブ画素は、それぞれ異なるバッファアンプと電氣的に接続され、

前記インバータの入力端子は、前記モニター制御用トランジスタのソースまたはドレインの一方および前記モニター用発光素子の一方の電極と電氣的に接続され、

前記インバータの出力端子は、前記モニター制御用トランジスタのゲートと電氣的に接続され、

前記モニター制御用トランジスタのソースまたはドレインの他方は、前記バッファアンプのいずれかおよび定電流源と電氣的に接続されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記サブ画素は、発光素子を備え、

前記発光素子と、前記モニター用発光素子とは、同一電位の電源と電氣的に接続されていることを特徴とする表示装置。